

動

Handsome

Handsome CONTENTS

No.400 December 2022

巻頭
記事

11月例会開催

11月例会を終えて

鳥取県中小企業青年中央会親睦事業開催

令和4年度 西部地区青年経済団体連絡協議会開催

TSCが誇る3つ星企業

第8回お地蔵さまフェスティバル実行委員長決定!!!

Handsome Love Letter / 12月例会に向けて

役員会報告 / 編集後記

～今、この瞬間に全力～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 高井賢一 ◆編集責任者/担当副会長 小谷泰樹 ◆制作・編集 第48期広報委員会/委員長 景山貴司

11月例会開催

『心を動かす言葉の力』

～前向きな気持ちが未来を変える～



令和4年11月15日、米子市観光センターにて広報委員会による第48期鳥取県西部中小企業青年中央会11月例会が開催されました。

冒頭の高井会長の挨拶では、11月例会ならびに11月5日に隼Labにて開催された県の親睦事業への参加に対する

感謝の意を表されました。また、長崎県で行われた中小企業団体全国大会への参加の報告では、西九州新幹線の話に触れられ、そこでイベントを開催し盛り上げ続けた長崎の青年団体の話がありました。地元からのネガティブな意見に対しても、前向きに取り組まれた青年団体の活力が街にも活きていると感じられ、我々の活動もまた街の動力へと変えていきたいとの想いを述べられました。



続いて、政治行政委員会の高見委員長による委員長タイムが「人と人の繋がり・人との出会い」をキーワードとして発表されました。まず所属企業の変遷や人事制度の紹介に触れた上で自己紹介の中で大学生のころには「新聞奨学生」として人と人との関わり合いを感じたとの事。また甘いもの好きのため隠れた名店を紹介され発表を終えられました。

本例会では日本ペップトーク普及協会の河本耕一氏を講師に

迎え、2019年ラグビーワールドカップ・アイルランド戦でジョセフヘッドコーチが選手へかけた「誰も勝てるとは思っていない 接戦になるとさえ思っていない 誰も我々がどれだけハードワークしてきたか どれくらいの犠牲を払ってきたのかも知らない でも自分たちはやるべきことは分かっている いっさい恐れてはいけない お互いを信頼し みんなを信じている 行くぞ!」を始めとする激励のスピーチ「ペップトーク」を多数のワークを盛り込んだセミナー方式で学びました。

ペップトークとは「事実を受け入れ(受容)→とらえ方を変換(承認)→してほしいことに変換(行動)→背中の一押しをする(激励)」といった構造で成り立っており、一見、出来そうで出来ない「激励の言葉」を短く、わかりやすく、肯定的な言葉で「勇気づけること」そして、何より自分自身を励ますことから始まり、周囲の人を励ます言葉を伝えることの大切さを認識することが出来た例会となりました。



ペップトークとは「事実を受け入れ(受容)→とらえ方を変換(承認)→してほしいことに変換(行動)→背中の一押しをする(激励)」といった構造で成り立っており、一見、出来そうで出来ない「激励の言葉」を短く、わかりやすく、肯定的な言葉で「勇気づけること」そして、何より自分自身を励ますことから始まり、周囲の人を励ます言葉を伝えることの大切さを認識することが出来た例会となりました。

(記事:狩野)



11月例会を終えて



本例会では『心を動かす言葉の力～前向きな気持ちが未来を変える～』をテーマに開催いたしました。コロナ禍での生活や物価高騰の波は、ビジネスでも私生活においてもネガティブな方向へと進ませます。しかし、私たちは社会を支える経済人として自分自身と周りをポジティブな気持ちに変えていく必要があると考え、ポジティブトークスキル術であるペップトークを学ぶ機会を企画しました。

当日は日本ペップトーク普及協会の河本氏をセミナー講師としてお招きし、グループワークを交えながら基本知識を学びました。ペップトークに興味を持ち、真摯に取り組んでいただき、出席いただいた会員の方々に感謝しております。本例会を通じて世の中がネガティブなニュースで溢れても、ペップトークがきっかけとなり西部中央会や会員が所属する企業、そして周りの家族や友人の間ではポジティブな言葉が飛び交い、前向きな気持ちで未来へと向かっていただければ嬉しく思います。

広報委員会 委員長 景山 貴司

(株式会社カミナリ 広告プランナー)

鳥取県中小企業青年中央会親睦事業が開催されました!!



11月5日に県事業として親睦事業が鳥取市の準Labで開催されました。西部は数年ぶりのバス移動で、到着するまでの車内ではレクリエーションを行うなどテンションは最高潮を維持したまま現地へと向

かいました。今回の親睦事業は各地区の垣根を越えて年代別チーム対抗でのリレー大会。懐かしの思い出クイズリレーを始め、竹馬やムーンウォークで襷を繋ぐリレーなど、各世代が一致団結し、白熱した戦いが繰り広げられました。そして、親睦事業後の懇親会では、豪華バーベキューが用意されておりました。あいにくの空模様でしたが県出向役員の方々の尽力もありテントなど対策も万全だったので各世代でバーベキューコンロを囲み、とても盛り上がりました。また懇親会では各世代の代表が世代別あるある話を披露し、懇親会の盛り上げりに華を添えていただくカタチとなりました。参加された皆様が楽しめ、親睦を図れた今事業をご準備してくださった県役員の方々に感謝いたします。

(記事:景山)

初めて参加してみた



政治行政委員会 川口 慎司
(株式会社葬仙)

11月5日準Labにて県の親睦事業が開催されました。

3年ぶりの開催ということで、私は今まで親睦事業に参加した経験がなく他地区の方とは研修事業の際に名刺を交換した程度の交流しかありませんでした。今回は同年代でのグループということで、会話も多種に盛り上がりました。同地区の会員とは月に数回の交流がありますが、他地区の会員とは年に数回となってしまいます。交流を図ることによって自分自身、社業においても糧となると思います。中央会に属している以上、会の全貌を把握する必要もあり、自身を会員に売り込むという意味においても重要かと思えます。

会費を払って所属しているのであれば、有意義に活動することが大事ではないでしょうか。

当日は雨でしたが個人的にはすごく楽しむことが出来ました。ご担当県役員の皆様は大変な中ご準備いただきまして誠にありがとうございました。

令和4年度 西部地区青年経済団体連絡協議会が開催されました



今年度は「団体の垣根を超えた人と人との関係性を構築し、目的達成に向け意識の共有を図る」という事業目的の下、11月

22日(火)、どらドラパーク米子市民体育館にて制限付きドッジボール大会が開催された。通常のルールとは異なりアウトを取った側(ボールを当てた側)には身体の動きを制限する手錠や視界を制限するお面の罰が科せられるなど、戦略性の高いゲームに会場は盛んに盛り上がった。

ゲーム終了後は米子ワシントンホテルプラザにて懇親会が行われ、会場内では至る所で名刺交換が行われた。制限付きドッジボール大会の表彰式終了後、各団体のPRタイムが設けられ、当会からは各委員長がPRを行った。最後に高井会長から「西経連事業は各団体が垣根を越えて集う有志の会である。この地域を発展させていくため今後も参加いただきたい」との中締めの挨拶があり閉会となった。

(記事:足立)

初めて参加してみた



動員委員会 柳谷 雄大
(株式会社柳谷ファーム
取締役社長)

11月22日(火)どらドラパークにて鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会事業が開催されました。「制限付きドッジボール」どのような内容なのか心躍らせ、他団体混合4チームリーグ戦での開始となりました。

私はYEG理事長チームの一員となり様々な制限を掛けられながらも見事優勝することができました。他団体の方との交流、当会の先輩会員の違った一面も拝見でき充実した時間を過ごせました。

終了後も、ワシントンホテルに移動し懇親会にも参加させていただきました。鳥取県西部を担う集まりとして各団体の掲げるものに違いはあるが、目指しているところは同じであると感じました。

来年は主管団体と聞き、さらに盛り上げていきたいと強く思いました。企画された主管団体をはじめ参加された皆様、お疲れさまでございました。



TSCが誇る3つ星企業



HASEGAWAテクニカ株式会社「自然と人にやさしい環境をつくる」



私の会社の3つ星ポイント

今回ご紹介する3つ星企業は、総務委員会の長谷川副委員長のHASEGAWAテクニカ株式会社です。お忙しい中、貴重なお話をいただきました。

HASEGAWAテクニカは、平成14年に長谷川副委員長のお父様が設立された会社で、主に農業資材や肥料の販売、農業技術・栽培の指導をされています。おいしい農作物ができるということだけでなく、安定した収穫量も確保できるよう、各土壌に合わせた肥料の提案、施肥方の指導を行い、農家さんと一緒に土から考える事業をされています。化学肥料に頼った農業ではなく、適切な肥料をタイミング良く使うことで、健全で安全な土壌、農作物、地球環境を提供するとのことでした。また、農業研修会の実施や農家さんに寄り添ったコミュニケーションから信頼を得て、今では近隣の農家さんだけでなく、中四国地方や京都、福井の方まで活動範囲を広げて、各地域の土壌や環境に合った農業技術・栽培指導をされています。農業研修会には、より良い農作物を作りたい現役の農家さんやこれから農業をされる方、家庭菜園で良いものを作りたい方など様々な農業に携わる方が参加されていて、しかも無料で研修会をされているとのことでした。

HASEGAWAテクニカは、土壌に合った適切な施肥計画の提案、研修会による技術指導をされることで、農業の発展を支えると熱い思いを語っていただきました。

1

土壌に合った
施肥計画の提案



土壌の力を十分に引き出す農業・人にも地球環境にも優しい農業・農家も消費者も満足する農業を実現するため、土壌改良に乳酸菌有効菌種や有機的な肥料を活用することで、健全で安全な土壌・農作物・地球環境を提供されています。

2

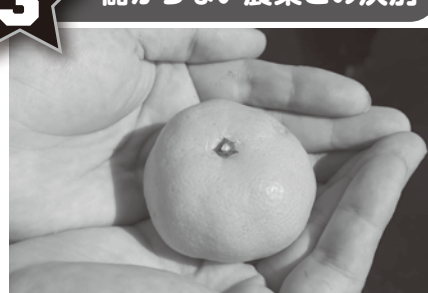
技術指導、農業研修会の実施



農家の方と共に基礎から農業を学び、より優れた手法を考えて実践されています。農家の方や肥料メーカーとの検証を繰り返し行うことで得られたノウハウを提供し、個々の農地に合った栽培方法を組み立てていくことで、安定した土壌、収穫量、品質を実現するためのプロセスを意識する農業を提案されています。

3

儲からない農業との決別



土壌を成熟させ、個々の場所に合致した栽培方法を会得できれば、儲からない農業と決別できます。高い品質、無類の旨み、安定の収穫量これらを土壌や農作物から引き出せば、周りの評価は自ずとついてくると熱い思いを語られていました。



所属会員から皆さまへメッセージ 長谷川 恵一 総務委員会

この度は取り上げていただき、ありがとうございます。弊社では農業コンサルティングを軸に、肥料や土壌改良材の販売・お米や野菜などの生産物の販売を行っています。家庭菜園の方からプロ農家さん、地域の植栽など幅広くお問合せ頂いています。

こだわりのお米、野菜、くだものなど多様な商品を取り扱っていますので、ぜひお声がけください！

企業情報

【会社名】

HASEGAWAテクニカ株式会社

【代表電話番号】0859-38-3600

【住所】鳥取県米子市長砂町927-8

(取材・記事: 景山、尾関、松田)

取材をした編集部からのおすすめポイント

農家さんと一緒に作り、土作り、技術指導に熱意をもって携わっておられる会社さんでした。今まであまり農業について知らなかったのですが、土壌に合わせて効率よく肥料を使うことで猛暑や大雨にも負けることなく農作物が育つようになるなど、非常に面白い話を聞くことができました。

第8回お地蔵さまフェスティバル実行委員長決定!!!



直前会長 奥森 秀夫(新和産業株式会社 常務取締役)

第8回大山お地蔵さまフェスティバル、実行委員長を務めさせていただきます奥森秀夫と申します。早いもので第41期松田会長年度にスタートした大山お地蔵さまフェスティバルも関係各所の皆様からのご支援、ご協力をいただき第8回を迎えることができました。この3年、コロナ禍による縮小開催ではございましたが、中止することなく継続することにより、少しずつ地域の方にも認知され、昨年は300名以上の方にご参加いただくことができました。当会50周年を迎える年にはこの大山お地蔵さまフェスティバルも第10回と記念すべき年となります。その礎として第8回も大山参道が子供の笑顔溢れる1日となるように会員一同、準備を進めてまいります。令和5年5月14日(日)、皆様のご来場心よりお待ちしております。

第5回



第6回



第7回



普段は言えない気持ちをハンサムにのせて

Handsome Love Letter



Dear 山内会員
専務理事兼会計担当理事 安達 信彦
(株式会社平設計 設計課長)

第48期専務理事の安達です。山口尚文OB、そして、山内会員に推薦して頂き、入会した当初は思いもしなかった役を受けさせて頂いております。頼まれたら「はい、喜んで。」と可能な限りは答えていたら、いつの間にか責任が大きくなり続けてまいりました。入会当初の私を知る方も同じように想像していなかった事としますので、少しずつでも成長できたと思い、このような縁を頂いて感謝しています。

例えば山内会員とは縁があり、同じ委員会に配属される事はこれまでありませんでしたが、二度の委員会報告の場を共にし、また県出向理事としても行動を共にしてまいりました。あなたは年下とは言え、中央会活動歴も豊富であり、多くの役を経験されておりましたので、その度に私の指針となり、目標となりました。

これから50周年を迎えるにあたり、会全体を引っ張っていく機会が増えてくると思いますが、あなたならしっかりとその役割をやり遂げると期待しております。私自身は中央会生活の折り返しを過ぎ、遠くにあったゴールもそろそろ見え始めましたが、いましばらくお付き合い頂きますよう宜しくお願い致します。

12月例会に向けて

動力委員会 委員長 明穂 真一
(境港海上無線株式会社)



コロナウイルス感染症拡大が少しですが、落ち着いてきました。お客様と対面でお会いする機会が増えてきたのではないのでしょうか。我々動力委員会は、今だからこそ、接遇マナーの重要性を全会員で改めて学び、体得して頂きたいと考え、12月例会を【今更聞けない接遇マナー】～あなたは本当に出来ていますか?～とさせて頂きました。「接遇」とは、「おもてなしの心」を表現する手法です。仕事を通じて出会った方に対して、自分の気持ちを伝えるための具体的な手法と考えます。講師の方をお招きして座学、ロールプレイを行い、しっかりと体得して頂き、今まで以上にお客様との信頼関係を築き、円滑な仕事の遂行につなげる、これ「動力」の一つです。

素敵なおもてなしには美しいマナーと心配りが身につくものだと思います。今まで以上に、素敵なおもてなしになってみませんか?皆様のご参加をお待ちしております。

12月役員会報告

令和4年12月1日(木)米子市公会堂にて12月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。
●12月例会開催の件 ●第8大山お地蔵さまフェスティバル開催の件
●第41回全日本トリアスロン実行委員長指名推薦の件...など
詳細につきましては各委員長までご確認ください。

編集後記

ニュースでは、相変わらず連日のようにコロナ感染拡大による第8波の到来、そしてロシアのウクライナ侵攻による痛ましい惨状等、世の中を不安に感じさせる報道が絶えません。安堵感に包まれた年末年始が全世界に訪れることを切に願う次第です。

(広報委員会 大江史紀)